



SG16 副議長（再任）

沖電気工業株式会社
やまもと ひでき
山本 秀樹

〈プロフィール〉

専門領域：映像配信システムの設計・開発・導入・保守・標準化

- 1984年 京都大学電気工学科卒業
- 1984年 沖電気工業株式会社入社
- 1995年 東京大学博士（工学）
- 1999年 映像配信関係の開発・事業化・標準化に従事、現在に至る
- 2022年 ITU-T SG16副議長再任

—— 先のWTSA-20での選出そしてご就任おめでとうございます。今回、副議長に任命されたことについて率直なお気持ちをお聞かせください。

山本 今回は2期目ですので1期目よりも、より積極的にSG16の標準化に関わっていきたくと考えています。

—— ご担当事項（ご専門領域）とご経歴、ITU（SG）との係わり（年数など）、その他の標準化機関での活動などを教えてください。

山本 入社後DB、AI、映像配信の製品開発・事業化に携わってきました。映像配信に関連して2000年ごろから国内のARIB・TTC、APT、ITU-Tの標準化に関わってきました。

—— 次研究会期におけるご担当の研究委員会の最重要テーマ・課題はどのような事とお考えでしょうか。

山本 AI、ブロックチェーン、仮想現実感及び高画質映像配信・再生が必要なメタバースの基本的な標準化が進むのではないかと見ています。

—— 副議長としての抱負をお聞かせください。どのようなところに力点を置いて活動されるご予定でしょうか。

山本 SG16に参加される専門家の標準化活動を他の国際標準化団体・業界団体と整合した形で進むように、うまく橋渡しをしていきたくと考えています。

—— 副議長としての難しさや障壁はどのようなものが想定されるでしょうか。また、そうしたことへの対処方法はどうお考えでしょうか。

山本 新しい分野は、その分野の業界標準団体とうまく関

係を築き、必要な国際標準を作っていくことが重要だと考えています。New Normalで直接会わなくてもコミュニケーションすることがある意味普通になったので、それを生かして関係を構築していきたいと考えています。

—— ポストコロナのSGの活動はどうなっていくと思われますか。また、どのようにしたいとお考えでしょうか。

山本 決定事項に応じて、会議はオンラインまたはハイブリッドなもの、直接参加が必須なものに分けられていくと思います。海外から国内の仕事の会議にオンラインで参加することが容易になったので、できればハイブリッドな会議でも直接参加できればと考えています。

—— 我が国、各加盟国の政府関係やICT産業界からの理解や協力についての期待をお聞かせください。

山本 SG16は自動運転、ドローン、ブロックチェーンなど比較的新しい分野の標準化に取り組んでいます。我が国はじめ各加盟国の政府関係や産業界から積極的にご提案いただき、より便利な新しいサービスのための標準ができることを期待します。

—— 最後に、個人の信条や、プライベートな時間でのご趣味などをお聞かせください。

山本 60才を過ぎたので新しいことを始めて脳に刺激を与えねばと、7月に初めてのゴルフに行く約束をしたのですが、WTSA-20の帰りの飛行機に乗る直前に転んで小指を骨折。これがなかなか治らず、十分な練習ができず、当日も小指は曲がったままでしたが、何とかコースを回りきりました。

—— 読者へのメッセージをお願いいたします。

山本 SG16の取組みは今後も拡大していくので、新しい分野の標準化をお考えの方はご相談いただければと思います。



■初ゴルフを終えて

【読者のための豆知識】

SG16の活動内容：マルチメディア及び関連デジタル技術